

地域おこし協力隊のふくしま散歩!

この度、福島町役場の水産商工課商工観光グループに地域おこし協力隊として赴任しました吉村と申します。

私は地元福島町で育ち、中学卒業まで福島町で生活しておりました。

その後は函館の高校へ進学し卒業後は就職で埼玉県、神奈川県で10年間働いておりました。

そんな生活の中、そろそろ福島町で暮らしたい・働きたいと思い、地域おこし協力隊に応募させて頂きました。

今後は自分で課題や目標をしっかりと持ち、福島町の発展と活性化の為に頑張りたいと思います。

また、福島町のイベント等にも積極的に参加していこうと思いますので皆様、気軽にお声かけ下さい。

赴任してすぐの8月2日(日)に開催した第4回海峡横綱ビーチバレー大会が開催されましたが、これからも様々なイベントなどを通じて、まちづくりに貢献していきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。



地域おこし協力隊
吉村 拓朗



▲ビーチバレー大会の様子

地域おこし協力隊に赴任して2ヶ月目に入りました。

最近少しずつ顔を覚えて頂けるようになりました野口です。

暑かったり、いきなり大雨が降ったり、猫の目のように変わりやすい天気ですが体調の管理には、気を付けてください。

さて、8月に入ってから水田では、雀との戦いが始まりました。

農業素人の私には最初何の音なのか分からなかったのですが、米の稲穂が出て来て米粒が柔らかい状態が雀の狙い目で、米粒が硬くなるまでの期間、大きい音などで雀を追い払うという事でした。

インターネットで調べてみたところ、雀は春から夏にかけては稲の害虫を食べてくれる益鳥で、実が生り始めてくるこの期間だけ害鳥になるとの事でした。

この事を知らずに雀を駆除して害虫だらけになってしまったという例もどこかの地域であったようです。

ちなみに雀の天敵を調べてみると、猫・イタチや鷲・鷹・フクロウなどの猛禽類・蛇類・カラスなど結構いるのですが、こちら辺のカラスは他に餌があるのか雀と共存しているように見えます。

そして雀も学習能力があるので、大きい音だけ鳴らしていても追い払うまではいかないのが現状で、更にご近所への騒音もあり、ネットで新しい対策を考えている所です。

なるべく人に耳障りにならない音で、雀に効果のある音や物、雀の天敵であるカラスやフクロウや鷹などの鳴き声をセンサーで雀が近づいた時だけ音が出るという商品もありました。

田全体を網で簡単に囲えれば手っ取り早いんですが、野鳥である雀の捕獲は禁止されているため、そういう網は売ってないそうです。



地域おこし協力隊
野口 和也